

衛生研究所WEBページ情報(その36)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、1998年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を市民にわかりやすく提供しています。

今回は、2007年1月のアクセス件数、アクセス順位及び2007年2月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については行政運営調整局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (2007年1月)

2007年1月の総アクセス数は、354,348件でした。主な内訳は、感染症77.7%、食品衛生8.1%、保健情報5.4%、生活環境衛生1.3%、検査情報月報2.7%でした。

表1 2007年1月 アクセス順位

(2) アクセス順位 (2007年1月)

2007年1月のアクセス順位(表1)は、「ブルセラ症について」が第1位でした。

これは、2007年1月9日に大阪府和泉市内で営業している犬の繁殖販売業者の飼育していた犬が「ブルセラ症」に集団感染した疑いがあると報道されたためと思われます。

ブルセラ症は、日本での発症は極めてまれですが、クウェート、イスラエル、サウジアラビア、トルコ等の中近東・地中海地域などをはじめとする世界各地で、依然として流行がみられる人畜共通感染症の一つです。

動物が感染したときの症状は、不妊症、死産、流産などがあります。

人が感染したときの症状は、2～3週間の潜伏期の後、症状を現します。あらゆる臓器に感染を起こし、発熱、リンパ節、肝臓、脾臓の腫れが見られなど、臨床症状は多彩です。泌尿器系では精巣炎を起こし、無精子症になることが知られています。人から人へは感染しません。

第2位が「マイコプラズマ肺炎について」、第3位が「MDMA(通称:エクスタシー)について」でした。

順位	タイトル	件数
1	ブルセラ症について	144,661
2	マイコプラズマ肺炎について	13,452
3	MDMA(通称:エクスタシー)について	8,280
4	ノロウイルスによる感染性胃腸炎について	8,145
5	RSウイルスによる気道感染症およびパリビズマブ(Palivizumab)について	7,610
6	EBウイルスと伝染性単核症について	5,648
7	ロタウイルスによる感染性胃腸炎について	4,717
8	トキソプラズマ症について	4,327
9	性器クラミジア感染症について	3,297
10	サイトメガロウイルス感染症について	3,290

データ提供:行政運営調整局IT活用推進課

(3) 電子メールによる問い合わせ (2007年2月)

2007年2月に届いた電子メールによる問い合わせの合計は、11件でした(表2)。

表2 2007年2月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
B、C型肝炎について	1	衛生研究所
食品の酸価と過酸化物価について	3	衛生研究所
ブルセラ菌について	3	衛生研究所
Q熱について	3	衛生研究所
書籍の閲覧について	1	衛生研究所

2 追加・更新記事 (2007年2月)

2007年2月に追加・更新した主な記事は、3件でした(表3)。

表3 2007年2月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
2月14日	英字略語集(ABC順)	更新
2月22日	遺伝子組換え食品の安全性について	更新
2月28日	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況について	更新

【 感染症・疫学情報課 】